

部課名		道路部道路政策課											
課の使命		○市民が暮らしやすい都市の実現を目指して、良好な道路等の都市基盤を形成します。 ○総務機能・調整機能を発揮し、部の使命達成に貢献します。											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	鶴川駅南北自由通路の事業認可取得	重点 事業 プラン	鶴川駅南北自由通路の事業認可取得に向けて、関係機関との協議・調整を行います。	鶴川駅南北自由通路の事業認可取得	事業認可取得 申請の準備完了 ※整備に向けた準備期間の工程を見直したため、修正しました。	○	事業認可取得に向けて、東京都と協議を行い、事業認可申請の準備が完了しました。	引き続き、東京都と協議を進め、2022年度の事業認可取得に向けた調整を行っていきます。	2022年度の事業認可取得に向け、東京都と協議を実施し、申請準備を完了させました。併せて鶴川駅周辺再整備事業全体のスケジュール調整を庁内で実施しました。	申請準備完了	C	C:目標水準を達成したためです。	事業認可取得に向けて、手続を進めます。
2	「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」及び「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針(在り方基本方針)」に関する取組み	重点 事業 プラン	【再検討路線】第四次事業化計画で計画内容再検討路線となっている町田3・4・27の都市計画変更に向けた手続を進めます。 【代替路線】在り方基本方針で既存道路による代替可能性の廃止予定路線である町田3・4・12号の都市計画変更に向けた手続を進めます。	【再検討路線】町田3・4・27号の基礎的調査 【代替路線】町田3・4・12号の用途地域など関係する計画との調整	【再検討路線】調査完了 【代替路線】調整完了	◎	【再検討路線】横浜市との調整が円滑に進んだため、当初より早期に基礎的調査が完了しました。 【代替路線】関係機関及び地権者への説明が円滑に進んだため、当初より早期に調整が完了しました。	【再検討路線】来年度予定していた都市計画変更に向けて、関係機関との協議・調整を今年度前倒しで行います。 【代替路線】来年度予定していた素案説明会の開催及び、都市計画の変更、告示を今年度前倒しで行います。	【再検討路線】基礎的調査を完了させ、来年度予定していた都市計画変更に向けての関係機関との協議・調整を今年度前倒しで実施しました。 【代替路線】用途地域など関係する計画との調整を完了させ、来年度予定していた素案説明会の開催及び、都市計画の変更、告示を今年度前倒しで実施しました。	【再検討路線】基礎的調査完了 関係機関と協議・調整を実施 【代替路線】関係する計画との調整完了 都市計画変更の実施	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	【再検討路線】都市計画変更に向けて、手続を進めます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	擁壁・法面管理計画 (長寿命化修繕計画) の策定に関する取組 み	個別 計画	計画策定に向けた整理・検討(維持管理区分や、施設の大きさ・構造形式等を踏まえた重要度の設定、及びそれらを活用した過年度調査箇所分類)	整理・検討の 実施	整理・検討の完了	○	計画策定に向け、他自治体へのヒアリングを実施しました。 維持管理区分、重要度の設定を完了しました。	維持管理区分及び重要度に基づいた過年度資料の分類をします。	計画策定に向けた整理・検討(維持管理区分や、施設の大きさ・構造形式等を踏まえた重要度の設定、及びそれらを活用した過年度調査箇所分類)が完了しました。	整理・検討 の完了	C	C:目標水準を達成したためです。	整理・検討結果を庁内に共有し、計画策定に向けて、準備を進めます。
4	道路部職員の能力向上を目的とした、道路部内研修の実施	—	道路部職員として必要な能力の向上を目的として研修等を開催します。また、動画や資料を共有のフォルダーに格納し、いつでも学べる環境を整備します。	研修回数	9回	○	道路GIS操作研修やメンタルヘルスセミナー研修など、5回の研修を行いました。	外部講師による研修や、環境資源部と合同で行う災害対策訓練研修など、4回の研修を予定しています。	10回の研修を実施しました。 内4回の研修では、災害をテーマとして、凶上での訓練や現地作業を実施し、職員の判断力及び習熟度向上に努めました。	研修を10回実施し、アンケートの結果、約8割の職員が研修について役に立ったと回答しました。	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、災害対策訓練等、道路部職員として必要な能力の向上を目指して研修等を開催します。
5	経営品質向上を目指した、業務の改善	—	各課から様々な提案を集める等、業務改善の検討会を実施します。	検討件数	2件	○	【道路GIS】 新規に導入した機能により、オンライン化された業務が増加しました。また、業務フローが簡潔になり、業務の効率化が図れました。 【災害関連】 有事の際に、より迅速な対応ができるよう、連絡手段やマニュアル等について見直し・検討を開始しました。	【災害関連】 引き続き検討を行い、災害対応のマニュアルを修正します。	道路GISを活用する業務が増加しました。また、業務フローが簡潔になり、業務の効率化が図れました。 震災時の対応について、業務内容及び必要人員等の見直しを行いマニュアルを修正しました。引き続き、風水・雪害や災害廃棄物処理等について検討しました。	2件の検討	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き、経営品質向上を目指し、業務改善を行います。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
6	ワークライフバランスの 充実	—	業務分担の平準化、個人の働き方 の見直しを行うことにより、時間外 業務を減らします。	時間外勤務時 間の削減	560時間の削減 (対2019年度)	○	2019年度の実績に対 し、時間外勤務時間が 352時間減少しました。	引き続き、時間外勤務 削減を意識して業務 を行います。	休職している職員や他 課と兼務している職員 がいる状況でしたが、 打合せ頻度や業務分 担の見直し等、工夫を こらした結果2019年度 の実績に対し、時間外 勤務時間が493時間減 少しました。	493時間の 削減 (対2019年 度)	C	C:少ない人員 で、当初の目 標に近い成果 が上がったた めです。	既存業務を見 直し、デジタル 化等へ取組み 時間外勤務時 間を削減しま す。

部課名	道路部道路整備課												
課の使命	道路等の整備を効果的・効率的に行い、快適で安全な道路環境を提供することで、道路を利用するすべての人が移動しやすいまちをつくります。												
実行計画(年度目標)													
	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	(1)鶴川駅北口広場の整備 (2)相原駅東口アクセス路等の整備	重点 事業 プラン	(1)鶴川駅北口広場の整備全体のうち、電線共同溝の整備を進めます。 (2)相原駅東口アクセス路等の事業用地取得を進めます。	(1)電線共同溝工事の実施 (2)事業用地全体面積に対する用地取得割合	(1)完了 (2)13%取得完了	○	(1)9月1日に電線共同溝工事請負契約を締結し、工事を実施しています。 (2)13.64%の用地取得を完了しました。	(1)電線共同溝工事を完了します。 (2)さらなる用地取得に向け、関係人との用地折衝を継続します。	(1)電線共同溝工事を完了しました。 (2)過年度に物件調査を実施した全関係人と用地折衝を行い、上半期の用地取得に加え、新たに用地を取得しました。(17.24%)	(1)完了 (2)17.24%の用地取得を完了しました。	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	(1)引き続き、事業スケジュールに影響が生じないように、広場の整備を進めていきます。 (2)事業スケジュールに影響が生じないように進捗管理を行います。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
2	都市計画道路の整備	重点 事業 プラン	(1)都市計画道路3・3・7号線(成瀬)の整備を進めます。 (2)都市計画道路3・4・11号線(原町田)の整備を進めます。 (3)都市計画道路3・4・22号線(小野路)の整備を進めます。 (4)都市計画道路3・4・41号線(小山)の整備を進めます。	(1)物件調査の一部実施 (2)用地測量の実施 (3)詳細設計の実施 予備設計の実施 ※関係部署との協議の結果、予備設計として行うこととなったため修正しました。 (4)工事の実施 河川管理者協議の完了 ※関係部署との協議に時間を要しており、今年度の工事を実施できないため修正しました。	(1)完了 (2)完了 (3)完了 (4)完了	○	(1)7月26日に物件調査業務委託契約を締結し、調査を実施しています。 (2)5月21・23日に地元住民へ、整備事業の説明会を実施し、用地測量業務委託の発注準備を行っています。 (3)7月9日に予備設計業務委託を締結し、設計内容について東京都と協議を行っています。 (4)相模原市と町田市で協力し河川管理者との協議を行っています。	(1)物件所有者と調整し、2021年度分の物件調査を完了します。 (2)用地測量を完了します。 (3)予備設計を完了します。 (4)河川管理者協議を完了します。	(1)物件所有者と調整し、2021年度分の物件調査を完了しました。 (2)2021年度分の用地測量を完了しました。 (3)予備設計を完了しました。 (4)河川管理者協議を完了しました。	(1)完了 (2)完了 (3)完了 (4)完了	C	C:目標水準を達成したためです。	(1)事業スケジュールに影響が生じないよう進捗管理を行います。 (2)(3)引き続き、事業スケジュールに影響が生じないよう、道路設計・関係機関調整などを行います。 (4)引き続き、工事に向けて進捗管理を行います。
3	玉川学園前駅デッキの整備	重点 事業 プラン	2021年度分の工事を実施し、玉川学園前駅デッキの整備を完了させます。	工事の実施	完了	○	2020年3月30日契約の債務負担工事で2021年度分の工事を実施しています。	玉川学園前駅デッキの工事を完了します。	玉川学園前駅デッキの工事が完了しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	予定通り完了しました。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
4	忠生630号線の整備	重点 事業 プラン	忠生630号線(第二期)の改良工事について、2023年度完了を目指し2021年度分を実施します。	工事の実施	完了	○	7月19日に道路改良工事請負契約を締結し、2021年度分の工事を実施しています。	2021年度分の工事を完了します。	2021年度分の工事が完了しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	事業スケジュールに影響が生じないよう進捗管理を行います。
5	尾根緑道の整備	—	忠生732号線(尾根緑道)の改良工事について、2023年度完了を目指し2021年度分を実施します。	工事の実施	完了	○	7月15日に道路改良工事請負契約を締結し、2021年度分の工事を実施しています。	2021年度分の工事を完了します。	2021年度分の工事が完了しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	事業スケジュールに影響が生じないよう進捗管理を行います。
6	未利用地(普通財産)の有効活用	—	未利用地(普通財産)の売却など、新たな財源確保に努めます。	未利用地の有効活用数	1筆	○	関係部署と調整し、売却に向け手続中です。	関係部署と調整し、2021年度中に売却を実施します。	競売にて1筆の売却が完了しました。	1筆	C	C:目標水準を達成したためです。	今後も未利用地の有効活用を行い、新たな財源確保と管理費抑制に努めます。
7	職員の業務遂行力の向上	—	業務に対する知識を深め、業務遂行力の向上を図るため、勉強会を実施します。	勉強会の実施	4回	○	民間工事現場にてニューマチックケーン工法やシールド工法の技術指導の受講を1回実施しています。	業務にかかわる様々な分野について、3回の勉強会を実施します。	当初予定していた4回の勉強会に加え、相模原市の災害復旧現場の視察研修及び、尾根緑道のシートパイル打設工法の視察研修を行いました。	6回	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	業務遂行力向上のため、今後も勉強会を行い、知識習得を図ります。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
8	業務の効率化	—	業務の効率化を図るために、情報共有方法等の見直しを行うことで時間外業務の削減を図ります。	時間外勤務時間の削減	対2019年度比3割削減(1,365時間)	◎	2021年8月末現在、2019年8月末時点と比較し、4割削減しています。	引き続き時間外の削減を目指します。	2019年度時間外勤務時間と比較して、3.5割の削減を達成しました。	対2019年度比3.5割削減(約1,600時間)	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	今後も情報共有方法等の見直しを行い、業務の効率化を図ります。

部課名		道路部道路管理課											
課の使命		すべての人が道路を安全・安心で、快適に利用できるよう適正な管理を行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
中間確認													
年度末確認													
順位	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	道路部所管の遊休財産の活用	—	道路部所管財産の中で、遊休地の貸付や公営自転車駐車場の空きスペース等を活用し、自動販売機等の設置を行い、財源を確保します。	件数	10件 (新規3件)	◎	シェアサイクルのサイクルポート3件を新規設置が確定しています。	引き続き、シェアサイクルのサイクルポートや自動販売機の設置を検討していきます。	・道路部所管の遊休地を活用して、シェアサイクルのサイクルポートを新規設置しました。(4件) ・既にあるサイクルポートについても、公営自転車駐車場の空きスペースを活用し、増設をしました。(2件)	11件 (新規4件)	B	B:当初の目標を上回る成果が上ったためです。	活用できる遊休地が限られてきているため、最大限に活用できるように工夫が必要です。
2	道路の不具合を通報できる市民通報アプリ「まちピカ町田くん」の活用により要望受付に要する時間を削減します。	—	市民通報アプリ「まちピカ町田くん」の利用者が増えるよう普及活動に努め、多方面に周知活動を展開します。	利用実績	12.0%	△	現地調査時に要望者へ道路通報アプリを紹介し、啓発用のティッシュを配るとともに、次回以降の要望時には道路通報アプリを活用していただくよう周知しました。なお、利用率は10.2%です。	引き続き、現地調査時に道路通報アプリの啓発を行い、利用率向上を目指します。また、町内会自治会を通して道路通報アプリの普及啓発を行います。	・要望受付時に、市民通報アプリについて案内し、利用促進を図りました。 ・町内会要望を受付時に、町内会代表者へ市民通報アプリの町内周知を依頼し、利用促進を図りました。 ・市民生活連絡会議にて町内会自治会の代表者へ周知を図りました。	13.0%	C	C:目標水準を達成したためです。	要望者が比較的高齢なため、スマホに対応できない場合があります。また、アプリの選択項目の多さと操作の煩雑性も課題です。簡単な仕様と選択形式のみの通報方法や全項目入れない送信できないようにする等の工夫が必要です。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	違反広告物パトロールの継続実施	—	道路の景観を保つため、違反広告物パトロールを月2回継続して実施します。	パトロール回数	2回/月	○	毎月第2週・4週に違反広告物のパトロールを実施しました。	引き続き、違反広告物パトロールを行い、道路の景観保持に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第2週・4週に違反広告物のパトロールを実施し、違反広告物の回収と設置業者への指導を行いました。 指導により、道路上に広告物を設置する事が違法であると理解する業者が増加しました。 	2回/月	C	C:目標水準を達成したためです。	敷地内に広告物を設置する様な会社も見受けられます。まだ道路上に設置される事があるため、今後も継続的に指導を行う必要があります。
4	災害発生時における対応手順の見直し	—	2020年度に改訂した災害受付マニュアルを見直し、災害発生時の対応の効率化を図ります。	災害受付マニュアルの見直し	3回/年	△	風水害にて災害対応を行ったことから、係内にてマニュアルを共有し、問題点や意見を抽出しました。	今後の台風対応や雪対応を行った際にも、同様に問題点や意見を抽出し、マニュアルに反映させ効率化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 風水害対応および雪害対応に伴い、マニュアルの見直しを行いました。 	3回/年	C	C:目標水準を達成したためです。	マニュアルの見直しを行いました。部全体で災害対応が出来るよう引き続き改善していく必要があります。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
5	道路愛護運動「みちピカ町田」の推進	—	<p>広報まちだへ記事の掲載、チラシの配布等により、道路愛護運動「みちピカ町田」の活動を広めていきます。</p> <p>※「みちピカ町田」は「誰もが安全で快適に道路を利用できること」を目指して、一人一人の手で道路をより良くしていく道路愛護運動です。</p>	PR回数	4回/年	○	<p>・道路ふれあい月間の周知に合わせて、広報まちだへの掲載を行いました。</p> <p>・小中学生へのチラシ等の配布を行いました。</p>	<p>・地域の老人クラブへのPRを行います。</p> <p>・市民生活連絡会へのPRを行います。</p>	<p>・道路ふれあい月間の周知に合わせて、広報まちだへの掲載を行いました。</p> <p>・小中学生へのチラシ等の配布を行いました。</p> <p>・地域の老人クラブへのPRを行いました。</p> <p>・放置自転車クリーンキャンペーンに合わせて周知を行いました。</p> <p>・放置自転車対策ポスター募集の際に周知を行いました。</p> <p>・多摩境協働パトロールにて周知を行いました。</p> <p>・市民生活連絡会へのPRを行います。</p> <p>・市税申告会場にPRのチラシを設置します。</p>	8回	B	B:当初の目標を上回る成果が上ったためです。	道路愛護の普及については、継続的な取り組みが必要です。今後は、効果の高い方法を検討して普及してまいります。
6	ワークライフバランスの充実	—	業務分担の平準化、個人の働き方の見直しを行うことにより、時間外業務を減らします。	時間外勤務時間の削減	2140時間の削減(対2019年度)	○	<p>2019年度の9月末時点と比較し、約770時間削減しました。</p> <p>今年度より毎月時間外の集計を行い、数字を「見える化」したことで職員の時間外に対する意識を高めました。</p>	<p>毎月、課の連絡会で各係の時間外を確認することで、目標達成を図ります。</p>	<p>時間外数の「見える化」により職員の意識が高まり、2019年度の実績に対し、時間外勤務時間が1,620時間減少しました。</p>	1,620時間の削減(対2019年度)	D	D:取り組みましたが、成果が不十分であるためです。	<p>成果を確保するために引き続き取り組みが必要です。</p> <p>今後も継続的に一人一人の意識改革や、業務改善を進めてまいります。</p>

部課名		道路部道路管理課 許認可・用地管理担当											
課の使命		すべての人が道路を安全・安心で、快適に利用できるよう適正な管理を行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
中間確認													
年度末確認													
順位	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	道路管理平面図閲覧システムの改良	—	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理平面図閲覧システムの操作方法の現状の問題点を洗い出し、改善策の検討をおこないます。 わかりやすく利用できるようにシステムの修正、操作マニュアルの改訂をおこない、お客様の利便性向上に努めます。 	道路管理平面図閲覧システムの出力枚数	2,850枚/年	○	お客様の利用状況などを確認し、システム操作方法の問題点の洗い出し、改善策の検討をおこないました。その結果に基づいて、システム管理者と改善に向け調整を進めています。システム改善前のため、昨年と同様の枚数となっています。(1,300枚)	システム管理者と最終調整し、システムの修正、動作確認をおこないます。操作マニュアルの改訂、係員への案内操作研修をし、12月から修正したシステムの運用を開始します。	12月にシステムの修正、操作マニュアルの改訂をおこない、道路管理平面図閲覧システムの利便性を高めました。また、新たに確定した境界確定図番号を検索できる機能を追加し、出力枚数は昨年度よりも増加しましたが、目標値には達しませんでした。	2,668枚/年	D	D:取り組みましたが、成果が不十分であるためです。	システムの修正をしたことに対するお客様の認知度が低いことが課題です。ポップなどでお客様に周知をおこないます。
2	道路を占有している既存の物件について適正に申請するよう指導	—	<ul style="list-style-type: none"> 占有物件の調査を行い、道路占有申請を提出して頂くよう指導します。 道路占有料を徴収し、道路を適切に管理するための財源を確保します。 	改善件数	15件 13件 ※年度ごとの目標値件数を見直しました。	△	調査委託で占有物件の管理者と接触を伴う現地調査を実施するので、新型コロナウイルスの感染防止の観点から委託を見合わせていました。そのため、現在できる感染防止対策を実施しながら発注することとし、当初予定より3ヶ月遅れています。調査委託を開始しています。	目標値の13件を目指し、占有物件の調査委託を引き続き実施します。調査結果に基づき、占有者へ通知文書を送付し、道路占有申請の提出及び占有物件の是正について指導します。	占有物件の調査委託を実施し、163件の占有物件について通知文書を送付しました。未申請者への占有申請の提出促進と、基準不適合物件への是正指導を行い、13件の改善が得られました。	13件	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き占有物件の調査を進め、道路占有の適正化に努めます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	公共用財産の用途廃止事前調査願における、60日間以内に回答する達成率の向上	—	公共用財産の用途廃止事前調査願(道路用地等の私下・交換事前調査)において、60日間以内に回答する達成率の向上を図り、迅速に回答を行います。	達成率	75%	◎	公共用財産の用途廃止事前調査願における各工程の短縮を図りました。上半期において、60日間以内に回答する達成率は、100%です。	下半期も引き続き各工程の短縮を図り、60日間以内に回答出来るように努めます。	公共用財産の用途廃止事前調査願における各工程の短縮を図りました。60日間以内の回答率100%を達成しました。	100%	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き2022年度も、60日間以内の回答率100%を継続し、市民サービスの向上に努めます。

部課名	道路部道路維持課
課の使命	迅速かつ確実な維持補修作業をすることにより、道路等を常時良好な状態に保ち、利用者に対して安全かつ安心して快適に通行できる環境を提供します。 災害時等に、迅速に道路等の復旧を図り、最低限の市民生活を維持できるよう努めます。

実行計画(年度目標)

順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	橋梁の計画的補修	個別 計画	多摩境駅前広場の補修工事を行います。	補修工事の実施	補修工事の完了	○	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中、通行止めとなるため交通事業者(バス・タクシー)と調整し、仮の乗り場の場所を決定しました。 ・交通事業者との調整事項を踏まえた工事中の交通規制に関する調整を南大沢警察と行い、工事発注の準備が完了しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約締結後、周辺住民や駅利用者への周知を徹底したうえで、工事を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に工事契約を締結し、工期内に完了しました。 	補修工事の完了	C	C:目標水準を達成したためです。	関係機関と事前に協議調整し、早期発注を目指します。
2	直営による橋梁点検	—	点検マニュアルを活用した橋梁点検を行います。	点検の橋梁数	10橋	○	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に法定点検をするべき58橋のうち、現地踏査の結果から直営で実施する10橋を抽出しました。 ・今年度の直営点検の実施工程を作成しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・渇水期となる10月から、直営で10橋の橋梁点検を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直営で橋梁点検を実施し、10橋の点検を完了しました。 ・上記の橋梁点検に加えて、橋梁点検を行える職員が新たに2名増加しました。 ・上記の橋梁点検に加えて、災害時の橋梁点検について道路部内研修を実施し6名が参加しました。 	10橋	B	B:点検の橋梁数は目標値どおりだったが、部内研修等により、橋梁点検の効率化が図れたためです。	計画的な橋梁点検と職員の育成を実施します。
3	区画線の補修計画の策定	—	区画線の計画的修繕を実施するために5か年の年次計画(全体計画)を策定します。	計画策定	策定完了	○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的修繕の対象とする路線の選定が完了しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度から5か年で実施予定の区画線更新工事の年次計画(全体計画)を策定します。 ・2022年度区画線更新工事の現地調査を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5か年で実施予定の区画線更新工事の年次計画(全体計画)を策定しました。 ・現地調査も実施しました。 	策定完了	C	C:目標水準を達成したためです。	2021年度に策定した年次計画(全体計画)に基づき、区画線の計画的修繕を実施します。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
4	道路維持課業務のPR 実施	—	安心・安全・快適な道路施設の維持保全と環境負荷へ配慮した取組みを市民に知ってもらうため、道路維持課の業務のPRを行います。	回数	2回	○	<ul style="list-style-type: none"> ・街路灯LED化によるCO2排出量の削減を環境負荷へ配慮した取組みとしてPRするため、『環境白書』に掲載する準備を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境白書への掲載により業務PRを行います。 ・街路樹の発生材を加工し、市役所施設内で展示および利用することで業務PRを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境白書に街路灯LED化によるCO2排出量の削減を環境負荷軽減の取り組みとして掲載しました。 ・発生材を利用し、窓口飛沫防止パーテーションを作製しました。 ・防災フェアで消えないまちだ君を展示、PRを行いました。 ・多摩境駅合同パトロールでLED化と発生材のPRチラシの配布を行いました。 ・子ども市役所まつりで発生材を利用したコースターづくりを行いました。 ・道路部内研修で道路施設パトロール、駅前清掃活動を行いました。 	6回	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	効果的なPR活動を実施します。
5	ワークライフバランスの 充実	—	業務分担の平準化、個人の働き方の見直しを行うことにより、時間外業務を減らします。	時間外の削減	1,200時間の削減 (対2019年度)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度実績に対し、上半期で約1,000時間の時間外を削減しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き時間外の削減に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度実績に対し、約2,000時間の時間外を削減しました。 	2,000時間の削減	A	A:当初の目標を大幅に上回る成果が上がったためです。	今後も、ワークライフバランスの充実を心がけていきます。